資料１

令和７年度　芦屋町保健事業報告

1. 母子保健事業

①母子健康手帳交付

■　対象者：妊婦

■　日　時：毎月第１・３月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）９時 30 分～12 時
　　その他、随時

■　場　所：健康・こども課窓口

■　内　容：母子健康手帳の使い方の説明・保健指導（日常生活・栄養について）
　　妊婦健康診査・妊婦歯科健康診査の案内

■　評　価：母子健康手帳交付時に、保健師が全ての妊婦または代理人と面接し、妊婦の体調確認や育児などへの不安の解消に努めている。妊娠５か月頃に妊婦と胎児の健康状態を電話で確認し、妊娠８か月頃にはアンケートを実施している。希望者には個別面談を行い、妊娠中の不安等について相談を実施している。

【母子健康手帳交付状況】

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
妊娠届出数	64 人	59 人	63 人
転入	7 人	8 人	8 人
合計	71 人	67 人	71 人

【妊婦の年齢】

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
～19 歳	2 人	3 人	2 人
20～34 歳	48 人	43 人	41 人
35 歳以上	14 人	13 人	20 人
合計	64 人	59 人	63 人

【妊娠週数】

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
～11 週	58 人	54 人	58 人
12～19 週	3 人	3 人	5 人
20～27 週	2 人	2 人	0 人
28 週～分娩	1 人	0 人	0 人
不詳	0 人	0 人	0 人
合計	64 人	59 人	63 人

②妊婦健康診査・妊婦歯科健康診査

【妊婦健康診査】14 回

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
受診延回数	728 回	723 回	806 回
受診者実人数	104 人	105 人	96 人
10 回以上受診率	94%	98%	100%

【妊婦歯科健康診査】1 回

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
受診者数	12 人	18 人	19 人

③ハロー！Baby 教室（両親学級）

■ 対象者：妊婦とそのパートナー
■ 日　時：年 3 回（日曜日）　9 時 15 分～12 時 30 分
■ 場　所：中央公民館 4 階　和室・調理室
■ 内　容：赤ちゃんを迎えるための話（助産師）、お産のイメジェリー、マタニティヨガ、パパの妊婦体験、沐浴実習、妊娠中の栄養についての話（管理栄養士）
■ 評　価：参加者へのアンケートでは「2 人目ですが忘れていることもあったので勉強になった」「お風呂入れや妊婦ジャケットの装着など体験できてよかった」などの声が聞かれた。教室への参加を通して、子育ての情報だけでなく、夫婦で協力していくことの大切さや、こどもを迎える心構えも学んでもらっている。教室の周知は、母子手帳交付時や保健師による体調伺いの電話の時に行うようにしている。

【参加者数】

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
参加者数	6 組（10 人）	11 組（25 人）	11 組（24 人）

④産婦歯科健康診査

【産婦歯科健康診査】4 か月健診にて受診

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
対象者数	66 人	62 人	62 人
受診者数	63 人	57 人	56 人
受診率	95.5%	91.9%	90.3%

⑤ 0歳児健康診査

■ 対象者：4か月児、10か月児
■ 日　時：年12回
■ 場　所：町民会館　大ホール
■ 内　容：問診、身体計測、小児科診察、歯科指導（10か月児）、保健指導、栄養指導、ブックスタート事業（4か月児）、産婦歯科診察（4か月児の母親）
■ 評　価：乳幼児健康診査票は0歳から3歳まで連続して記録できる様式にして継続した支援ができるようにしている。受付時間を調整し、待ち時間を少なくスムーズに受診できるよう配慮した。4か月児健康診査の対象児の母親には産婦歯科診察を実施しており、母親のう歯予防にも継続して取り組んでいる。

【4か月児健康診査】

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
対象児数	68人	62人	62人
受診児数	66人	62人	62人
受診率	97.0%	100%	100%

【10か月児健康診査】

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
対象児数	76人	57人	59人
受診児数	72人	55人	53人
受診率	94.7%	96.5%	89.8%

⑥ 1歳6か月児健康診査

■ 対象者：1歳6か月児
■ 日　時：年4回
■ 場　所：町民会館　大ホール
■ 内　容：問診、身体計測、小児科診察、歯科診察、歯科指導、保健指導、栄養指導
■ 評　価：健康診査会場で、臨床心理士によることばや発達の遅れが心配なケースの相談（ほほえみ相談）を実施した。食生活改善推進会の協力により、かぼちゃとにんじんの手作りクッキーを配布し、おやつの役割等も伝えている。

【1歳6か月児健康診査】

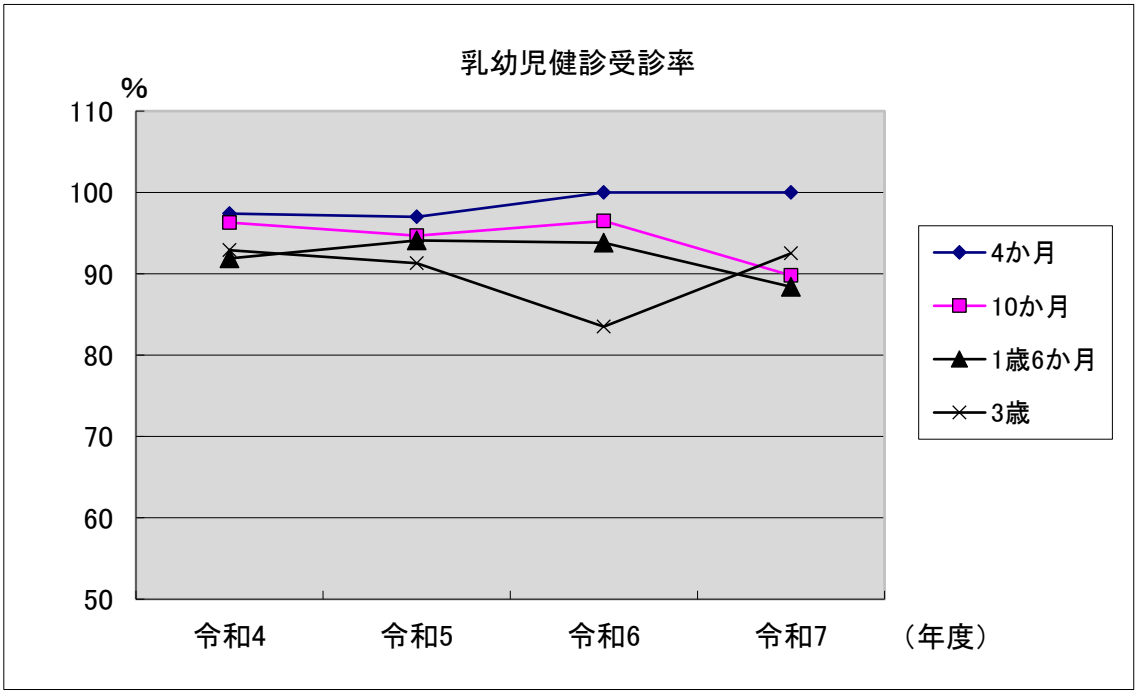
	令和5年度	令和6年度	令和7年度
対象児数	85人	80人	69人
受診児数	80人	75人	61人
受診率	94.1%	93.8%	88.4%

⑦ 3 歳児健康診査

■　対象者：3 歳児
■　日　時：年 4 回
■　場　所：町民会館　大ホール
■　内　容：問診、身体計測、小児科診察、歯科診察、歯科指導、保健指導、栄養指導、尿検査
■　評　価：健康診査会場で、臨床心理士によることばや発達の遅れが心配なケースの相談（ほほえみ相談）を実施した。

【3 歳児健康診査】

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
対象児数	92 人	85 人	94 人
受診児数	84 人	71 人	87 人
受診率	91.3%	83.5%	92.5%



●乳幼児健康診査結果（令和 7 年度）

【小児科診察結果】	0 歳児		1 歳 6 か月児	3 歳児
	4 か月児	10 か月児		
異常なし	54 人	49 人	42 人	60 人
既医療	0 人	0 人	0 人	0 人
要経過観察	5 人	0 人	11 人	19 人
要精密・要治療	3 人	4 人	8 人	8 人

【歯科診察結果】	1 歳 6 か月児	3 歳児
う歯があった	2 人	4 人
う歯総本数	3 本	15 本
軟組織の異常	2 人	0 人
不正咬合	0 人	13 人
その他の異常	0 人	10 人

●乳幼児健康診査未受診者

【未受診者の状況】	0 歳児		1 歳 6 か月	3 歳
	4 か月	10 か月		
他市町村で受診、受診結果把握	0 人	0 人	0 人	0 人
他医療機関で受診、未受診ｱﾝｹｰﾄ実施	0 人	0 人	0 人	1 人
健診日都合つかず、次年度受診勧奨	0 人	5 人	7 人	4 人
健診日都合つかず、転出	0 人	1 人	1 人	1 人
その他	0 人	0 人	0 人	1 人
合計	0 人	6 人	8 人	7 人

乳幼児健康診査未受診の場合は、訪問や役場への来庁等でアンケートを実施している。また、3 歳児健康診査以降は就学前まで健康診査がないため、できるだけ未受診者を出さないよう勧奨している。

未受診者については、フォローの状況を確認するとともに、訪問やすくすく発達相談時に必ずこどもの確認を行う。未受診者で手紙や昼間の訪問でも連絡が取れない人には、保育所等の保育士から保護者へ伝言してもらい、保護者から保健師へ連絡してもらうようにしたり、保育所で面談出来るように調整したり、すくすく発達相談で保育所等に出向いたときに、保育士に生活状況等を確認することもある。それでも連絡が取れない場合は、夜間訪問（18 時～20 時）を実施している。

⑧ 2歳児歯科相談

■　対象者：2歳児（フッ素塗布3回）
■　日　時：年6回　主に奇数月の第3金曜日
■　場　所：町民会館　大ホール
■　内　容：歯科診察、集団歯科指導（初回のみ）、フッ素塗布、保健指導
■　評　価：1歳6か月児健康診査から3歳児健康診査の間にう歯罹患率が増加するため、各健康診査での歯科指導や2歳児歯科相談での歯科指導およびフッ素塗布を実施する必要がある。

【2歳児歯科相談】

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
新規対象児数	77人	77人	72人
新規受診児数	70人	72人	61人
再来受診児数	60人	64人	51人

【歯科診察結果】

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
う歯があった	3人	1人	4人
う歯総本数	7本	2本	10本
軟組織の異常	3人	0人	4人
不正咬合	0人	3人	10人
その他の異常	0人	3人	7人

⑨ほほえみ相談

■　対象者：ことばの遅れ、発音などが気になる幼児
■　日　時：年 12 回　10 時～12 時、13 時～16 時
■　場　所：中央公民館 4 階　会議室、町民会館 2 階　会議室
　　1 歳 6 か月児健康診査会場、3 歳児健診会場
■　内　容：臨床心理士による発達相談
■　評　価：個別での相談の他、1 歳 6 か月児・3 歳児健康診査の中でも、ことばや発達の遅れなど気になることを、その場で相談できる体制をとっている。相談後、必要な場合は療育へつなげている。就学に影響する場合もあるため、医療機関や保育所、幼稚園、教育相談員、学校等と連携をとっている。

【相談人数】

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
延人数（実人数）	72 人（40 人）	61 人（50 人）	67 人（47 人）

【年齢の内訳（令和 6 年度）】

1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	7 歳	合計
2	11	12	16	10	16	0	67 人

⑩ほほえみ教室（親子教室）

■　対象者：ほほえみ相談で勧められた親子
■　日　時：年 12 回　10 時～11 時 30 分
■　場　所：中央公民館 2 階　21 会議室
■　内　容：小児療育を得意とした保育士による親子遊び
■　評　価：早期療育につなげるために、ほほえみ教室を令和 2 年度より開始。ほほえみ相談をした児のうち支援が必要とされた幼児に、教室を案内している。教室では、親子に対して人と関わることの楽しさや社会生活を送る上での必要な技術を教えることで、乳幼児の健全な発達に向けて支援している。

【参加人数】

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
延人数（実人数）	63 人（11 人）	33 人（9 人）	34 人（10 人）

【年齢の内訳（令和 7 年度）】

1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	合計
0 人	0 人	15 人	19 人	0 人	0 人	34 人

⑪ぱくぱく料理教室

■　対象者：乳幼児と保護者
■　日　時：年 4 回　9 時～13 時
■　場　所：中央公民館 4 階　調理室・和室
■　内　容：離乳食、幼児食の調理実習および試食
■　評　価：離乳食作りを体験したいとの声が多かったため、大人の食事からとりわけ離乳食を作る教室を実施している。実際に作ってみることで、色々な月齢の形態を一緒に作ることができるので違いがわかりやすかったという声や、託児がありよかった、また参加したいという声もきかれた。

【参加人数】

		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
回数		4 回	4 回	4 回
参加者数	こども	12 人	13 人	15 人
	保護者	13 人	15 人	15 人
	合計	28 人	25 人	30 人

⑫たんぽぽ相談（子育て支援センターたんぽぽ）

■　対象者：子育て支援センターを利用するこどもと保護者
■　日　時：奇数月　第 2 火曜日　10 時～12 時
■　場　所：子育て支援センターたんぽぽ
■　内　容：育児相談（保健師）、栄養相談（管理栄養士）
■　評　価：予約不要で参加できるため、当日センターを利用している人が気軽に相談できる。身長計や体重計を用意しているため、身長・体重の推移を確認しながら、発育・発達面についてなど、育児・栄養の両方面からアドバイスを行っている。

【参加状況】

		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
回数		6 回	6 回	6 回
相談組数	町内	8 組	12 組	11 組
	町外	5 組	11 組	9 組
	合計	23 組	13 組	20 組

⑬離乳食相談（子育て支援センターたんぽぽ）

■　対象者：子育て支援センターを利用するこどもと保護者
■　日　時：偶数月　第2火曜日　10時～12時
■　場　所：子育て支援センターたんぽぽ
■　内　容：離乳食・幼児食相談（管理栄養士）
■　評　価：令和7年度から、個別相談を行う「栄養の話」と、離乳食に関する講話・試食・個別相談を行う「離乳食の日」を実施している。「栄養の話」では、子育て支援センター利用者に食事に関する相談を呼びかけるなど、幅広く相談に対応している。

【参加状況】

		令和5年度	令和6年度	令和7年度
回数		6回	6回	6回
相談組数	町内	10組	15組	10組
	町外	2組	7組	12組
	合計	22組	12組	22組

⑭すくすく広場（子育て支援センターたんぽぽ）

■　対象者：0～6歳までのこどもと保護者
■　日　時：毎月第1火曜日　10時～12時
■　場　所：子育て支援センターたんぽぽ
■　内　容：幼児食相談（管理栄養士）
■　評　価：令和7年度から、離乳食及び幼児食に関する相談を「栄養の話」及び「離乳食の日」として一体的に実施しているため、すくすく広場は実施していない。

【参加状況】

		令和5年度	令和6年度	令和7年度
回数		1回	1回	
相談組数	こども	2組	6組	
	保護者	2組	5組	
	合計	11組	4組	

⑮産後ケア事業

■　対象者：ケアを必要とする産後 1 年未満の母親とその乳児

■　場　所：産婦人科・助産所等

■　内　容：助産師等の医療専門職による母親の心身のケアや授乳の相談・指導、育児に関する相談・指導等

■　評　価：産後の心身の不調または育児不安等がある母親に、助産師等の医療専門職が母親の身体的回復、心理的安定、乳児のケア等を支援するために令和 3 年度より開始した。令和 5 年度からは、サービスを拡充し、利用可能施設も増加、令和 6 年度 10 月から利用料を軽減したことにより、利用のしやすくなり、利用者が増加した。今後も、周知方法やサービス内容、申請方法など、支援が必要な母親が利用しやすくなるように検討していく。

【利用者数】

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
延人数（実人数）	20 人（13 人）	25 人（12 人）	44 人（24 人）

【サービス別利用者数】

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
宿泊型	5 人	2 人	6 人
通所型	9 人	8 人	25 人
通所型（短時間）	5 人	14 人	11 人
居宅訪問型	1 人	1 人	2 人

⑯出産・子育て応援事業

■　対象者：令和 7 年 3 月 31 日までに出産した芦屋町に住民票のある産婦または出生したこどもの養育者

■　内　容：出生後の面談を実施した対象者に、子育て応援給付金（5 万円）を給付する「経済的支援」を行う。令和 7 年 4 月 1 日から、「妊婦のための支援給付」に制度が移行した。

【給付状況】

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
支給者数	62 人	61 人	8 人
支給率	100%	100%	100%

⑰妊婦のための支援給付

■　対象者：芦屋町に住民票のある妊婦または妊娠しているこどもの人数の届出を行った産婦等

■　内　容：妊娠の届出をおこなった妊婦等および妊娠しているこどもの人数の届出を行った産婦等に対し、それぞれ妊婦支援給付金（5 万円）を給付する「経済的支援」を行う。なお、従来の出産・子育て応援事業は、法改正に伴い、令和 7 年度から妊婦のための支援給付事業へ移行した。

【給付状況】

	令和 7 年度
支給者数	131 人
支給率	100%

⑱特定不妊治療費（先進医療）支援助成金交付事業

■　対象者：芦屋町に住民票があり「福岡県不妊に悩む方への先進医療支援事業助成金」の交付を受けている夫婦

■　内　容：令和 7 年度から特定不妊治療における保険診療と併用可能な先進医療に係る費用への一部助成を開始した。

【助成件数】

	令和 7 年度
支給者数	0 件

⑲新生児聴覚検査費助成金交付事業

■　対象者：芦屋町に住民票があり、新生児聴覚検査を受けた新生児の保護者

■　内　容：令和 7 年度から、新生児聴覚検査の初回検査に要する費用の一部助成を開始した。

【助成件数】

	令和 7 年度
支給者数	59 件

２.小児予防接種

①　小児定期予防接種

■　対象者：各々予防接種対象月年齢児

■　日　時：4 月～翌 3 月

■　内　容：ロタウイルス感染症、ヒブ感染症、小児肺炎球菌感染症、BCG（結核）、五種混合、四種混合、二種混合、MR（麻しん・風しん）、水痘、日本脳炎、ヒトパピローマウイルス感染症（HPV）、ヒトパピローマウイルス感染症キャッチアップ接種

■　評　価：赤ちゃん訪問、乳幼児健康診査、就学時健康診断等で未接種児の保護者に勧奨を実施している。また、保育園・学校を通して勧奨チラシを配付し、個別で勧奨が必要な予防接種に関しては、個別通知を郵送している。接種期限が迫っているものに関しては電話勧奨を実施している。

【接種状況（接種者数・接種率）】

	ヒブ				小児肺炎球菌				BCG
令和5年度	1回目	2回目	3回目	追加	1回目	2回目	3回目	追加	77人
	69人	76人	71人	79人	69人	76人	71人	79人	
	97.2%	107.0%	100.0%	94.0%	97.2%	107.0%	100.0%	94.0%	108.5%
令和6年度	1回目	2回目	3回目	追加	1回目	2回目	3回目	追加	54人
	0人	5人	12人	55人	60人	57人	64人	61人	
	0%	10.0%	24.0%	74.3%	120.0%	114.0%	128.0%	82.4%	108.0%
令和7年度	1回目	2回目	3回目	追加	1回目	2回目	3回目	追加	57人
	0人	0人	0人	9人	65人	67人	58	57	
	0%	0%	0%	14.3%	101.6%	104.7%	90.6%	90.5%	89.1%

	四種混合				五種混合				二種混合
令和5年度	1回目	2回目	3回目	追加					71人
	78人	81人	76人	81人					
	109.9%	114.1%	107.0%	96.4%					62.8%
令和6年度	1回目	2回目	3回目	追加	1回目	2回目	3回目	追加	60人
	1人	6人	15人	63人	60人	52人	50人	7人	
	2.0%	12.0%	30.0%	126.0%	120.0%	104.0%	100.0%	14.0%	61.2%
令和7年度	1回目	2回目	3回目	追加	1回目	2回目	3回目	追加	69人
	0人	0人	1人	18人	65人	67人	58人	59人	
	0%	0%	1.6%	28.6%	101.6%	104.7%	90.6%	93.7%	65.7%

	MR1 期	MR2 期	水痘		B 型肝炎		
令和5年度	78 人	105 人	1 回目	2 回目	1 回目	2 回目	3 回目
			85 人	72 人	68 人	76 人	62 人
	92.9%	92.9%	101.2%	94.7%	95.8%	107.0%	87.3%
令和6年度	64 人	72 人	1 回目	2 回目	1 回目	2 回目	3 回目
			66 人	54 人	60 人	56 人	51 人
	86.5%	92.3%	89.2%	62.1%	120.0%	112.0%	102.0%
令和7年度	59 人	83 人	1 回目	2 回目	1 回目	2 回目	3 回目
			57 人	66 人	66 人	67 人	54 人
	93.7%	93.3%	90.5%	88.0%	103.1%	104.7%	84.4%

	日本脳炎				ロタウイルス感染症		
令和5年度	1 回目	2 回目	1 期追加	2 期	1 回目	2 回目	3 回目
	72 人	72 人	81 人	96 人	63 人	65 人	17 人
	80.0%	80.0%	106.6%	90.6%	88.7%	91.5%	23.9%
令和6年度	1 回目	2 回目	1 期追加	2 期	1 回目	2 回目	3 回目
	73 人	72 人	73 人	79 人	57 人	55 人	13 人
	94.8%	93.5%	74.5%	65.8%	114.0%	110.0%	26.0%
令和7年度	1 回目	2 回目	1 期追加	2 期	1 回目	2 回目	3 回目
	74 人	69 人	66 人	75 人	62 人	61 人	14 人
	89.2%	83.1%	77.6%	65.2%	96.9%	95.3%	21.9%

	ヒトパピローマウイルス感染症			ヒトパピローマウイルス感染症（キャッチアップ接種）		
令和5年度	1 回目	2 回目	3 回目	1 回目	2 回目	3 回目
	27 人	14 人	7 人	33 人	28 人	21 人
	41.5%	21.5%	10.8%	5.7%	4.8%	3.6%
令和6年度	1 回目	2 回目	3 回目	1 回目	2 回目	3 回目
	42 人	31 人	13 人	90 人	80 人	78 人
	80.8%	59.6%	25.0%	14.5%	12.9%	12.5%
令和7年度	1 回目	2 回目	3 回目	1 回目	2 回目	3 回目
	21 人	44 人	31 人	0 人	24 人	29 人
	35.0%	73.3%	51.7%	0%	3.4%	4.1%

※令和7年度のキャッチアップ接種は、令和7年3月31日までに1回以上接種した人が対象。

② 風しん予防接種助成事業

■ 対象者：妊娠希望者、妊娠希望者や妊婦の配偶者または同居人

■ 日　時：4 月～翌 3 月

■ 内　容：先天性風しん症候群及び風しんのまん延の予防を図り、町民の健康増進に寄与することを目的として、対象者が風しんの予防接種をした場合にその費用の一部を助成する事業。

■ 評　価：母子健康手帳交付時に勧奨を実施している。予診票を交付済みの未接種者には電話勧奨を実施している。

【接種状況（接種者数・接種率)】

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
接種者数	5 人	4 人	3 人
接種率	55.6%	80.0%	100%

③ 造血細胞移植後定期予防接種ワクチン再接種費用助成事業

■ 対象者：造血細胞移植を受けたことにより、移殖前に接種した定期予防接種（A 型疾病）の免疫が低下または消失したため、再接種が必要と医師が認める人

■ 日　時：4 月～翌 3 月

■ 内　容：被接種者及びその保護者の経済的負担を軽減するとともに、疾病の発生及びまん延を予防することを目的として、再接種に係る費用の全部又は一部を助成する事業。

■ 評　価： 町ホームページで勧奨を実施している。

【助成件数】

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
助成件数	0 件	0 件	0 件

３．成人健診・検診事業

①　特定健診

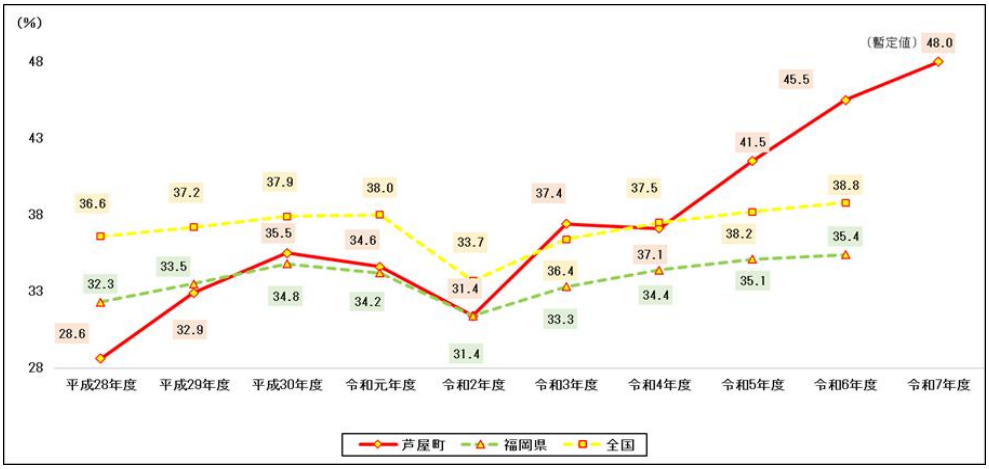
■　対象者　：芦屋町国民健康保険加入の 40～74 歳の人

■　実施期間：6 月～翌 3 月

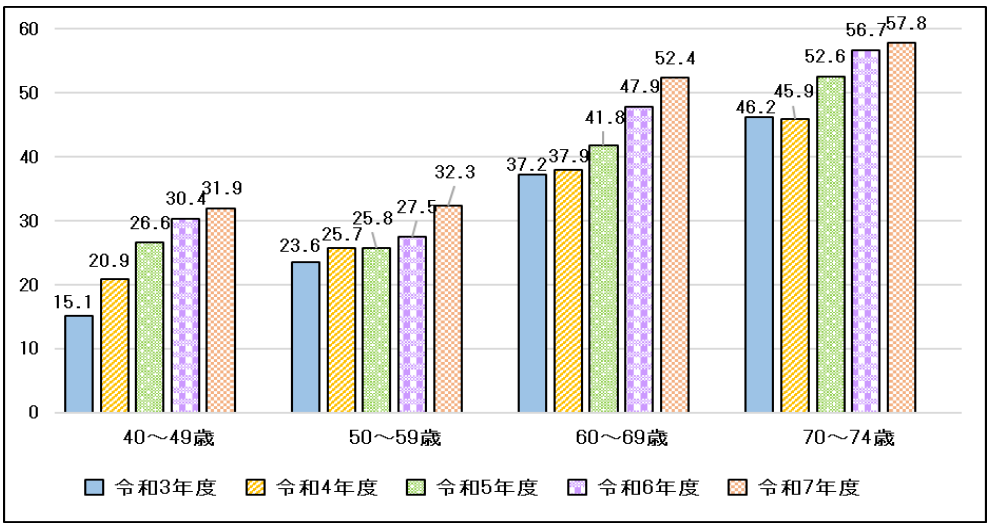
１）特定健診受診率

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
データヘルス計画 目標受診率	60%	40%	44% （第 3 期データヘルス計画）
受診者数/対象者数	744 人／1,794 人	753 人／1,655 人	745 人／1,551 人
特定健診受診率	41.5%	45.5%	48.0%（暫定値）
県内市町村順位	19 位	9 位	

■特定健診受診率の推移



■年代別特定健診受診率の推移



２）特定健診受診率向上対策

【全体への周知】

□　広報にチラシを折り込み

・4 月号：健康ガイド

・9 月号：健診案内チラシ

□　自治区総会で健診 PR

・13 地区は総会で説明

・2 地区は回覧板による資料配付のみ

□　商工会会員通知に健診案内を掲載

□　農事組合員に健診案内チラシを配付

□　漁業協同組合各支所に
ポスターを掲示

□　講演会やあしや文化祭時に PR

【個人への勧奨】

□　特定健診受診券の送付

□　往復勧奨ハガキの送付

・年 2 回送付（8 月、翌 1 月）

・意向調査や予約受付を実施

□　保険証切り替えおよび資格確認書等
発送通知に健診案内チラシを同封

□　受診者家族の健診受診状況を確認し、結果返却時に、受診者を介して家族への勧奨を実施

【健診を受診した特典】

特定健診とがん検診を受診した人へ
500 円程度の芦屋の野菜をプレゼント

【受けやすさの工夫】

□　平日は毎日実施

□　休日健診の実施

・土曜日：年 1 回

・日曜日：年 3 回

□　託児の実施（日曜日のみ）

□　下記の対象者の自己負担額無料

・2 年連続受診者

・40、45、50、55、60 歳の節目年齢の人

□　北九州市や遠賀郡など他市町村でも
受診できる体制を整備

□　人間ドック助成事業の実施

□　ウェブ予約の実施

【個人への勧奨（電話）】

架電実施数：延べ 826 人

勧奨できた人：617 人（74.7%）

受診につながった人：522 人（効果 84.6%）

・前年度受診者（受診月の翌月勧奨）

・往復勧奨ハガキの返信があった人

・隔年受診者

【個人への勧奨（訪問）】

訪問実施数：延べ 160 人

勧奨できた人：92 人（57.5%）

受診につながった人：53 人　（効果 57.6%）

・40 歳・45 歳・50 歳の人

・医療情報収集事業対象者

・電話による勧奨で不通だった人

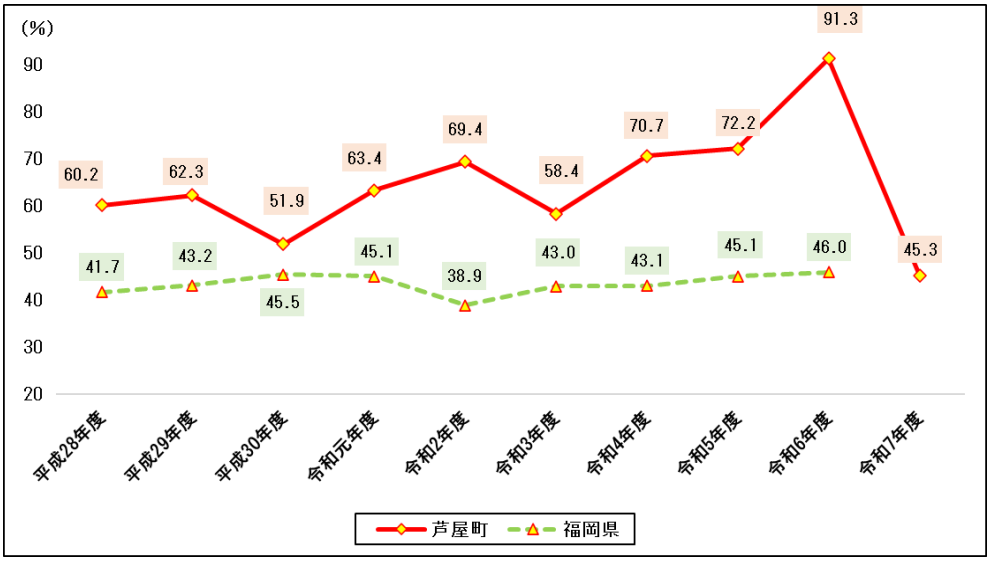
※訪問時、不在の場合は案内を投函

②　特定保健指導

■　対象者　：特定健診の結果、生活習慣病の発症のリスクがあり、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が多く期待できる人

１）特定保健指導率

	該当者数	終了者数	中断者数	未終了者	特定保健指導率
積極的支援	21 人	2 人	0 人	19 人	9.5%
動機づけ支援	43 人	27 人	0 人	16 人	62.8%
合計	64 人	29 人	0 人	35 人	45.3%



２）動脈硬化の視点でみた健診有所見者の割合（令和 6 年度）

	メタボリックシンドローム	HbA1c7.0%以上	未治療者	Ⅱ度高血圧（160 以上/100 以上）
該当者人数(割合)	195 人（25.9%）	60 人（8.4%）	16 人（26.7%）	54 人（7.2%）
県内市町村順位	ワースト 4 位	ワースト 2 位	ワースト 32 位	ワースト 14 位

	Ⅲ度高血圧（180 以上/110 以上）	未治療者	LDL（180mg/dl 以上）	未治療者
該当者人数(割合)	12 人（1.6%）	7 人（58.3%）	46 人（6.1%）	41 人（89.1%）
県内市町村順位	ワースト 5 位	ワースト 52 位	ワースト 1 位	ワースト 46 位

３）特定保健指導率向上対策、保健指導質向上対策

【医療機関との連携】

□　各学会のガイドライン、遠賀中間地域糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づき、受診勧奨判定値以上の人に対して紹介状を発行し、医療機関受診を案内。

	高血圧	脂質異常	糖プロ
紹介状発行者	31 人	41 人	21 人
紹介状返信率	41.9%	36.6%	52.4%
医療機関受診率	54.8%	68.3%	90.5%

□　医療機関より紹介状の返信があった場合は、医師の指示に基づいて保健指導、栄養指導を実施。

□　医療機関より紹介状の返信がない場合は、レセプトなどで医療機関への受診、治療状況を確認しながら、継続的な指導を実施。

【指導方法】

□　健診結果説明会を実施。

□　目標達成シートを活用し、体重の減少量、減少のために必要な消費カロリー量を示し、そのために改善できる生活習慣を一緒に検討。

【ふくおか健康ポイントアプリの活用】

□　結果説明会に参加　☞200p 付与

□　体重・血圧の記録　☞各 5p/日付与

□　歩数　☞1,000 歩あたり 5p（上限 10,000 歩：50p/日）

□　獲得したポイントで芦屋町商工会商品券（500 円～3,000 円）が当たるキャンペーンを実施

【健診を受診した特典】

特定健診とがん検診を受診した人へ 500 円程度の芦屋町産の野菜等をプレゼント

※結果説明会でのお渡し

③　若者健診

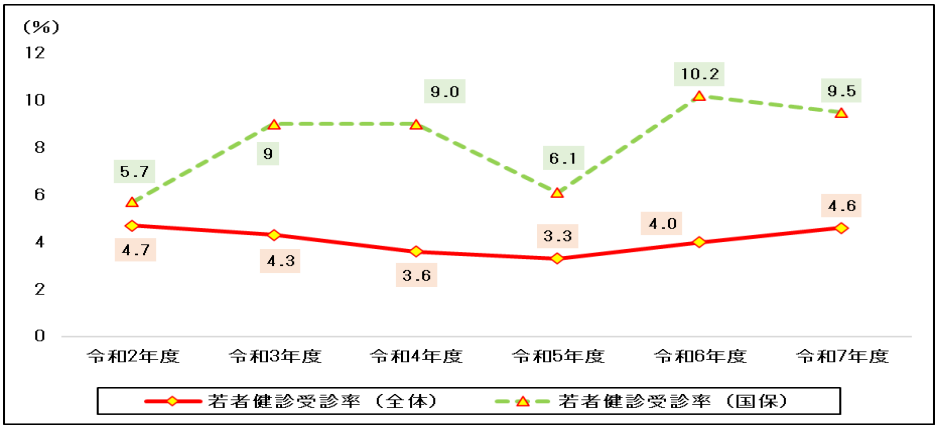
■　対象者　：19～39 歳の人

■　実施期間：6 月～翌 3 月

１）若者健診受診率

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
受診者数/対象者数	85 人／2,556 人	103 人／2,529 人	110 人／2,405 人
若者健診受診率（全体）	3.3%	4.0%	4.6%
受診者数/国保対象者数	22 人／358 人	35 人／343 人	30 人／317 人
若者健診受診率（国保のみ）	6.1%	10.2%	9.5%

■若者健診受診率の推移



２）若者健診受診率向上対策

【受けやすさの工夫】

☐　平日は毎日実施、休日健診の実施

・土曜日：年 1 回

・日曜日：年 3 回

☐　託児の実施（土曜日・日曜日のみ）

☐　ウェブ予約の実施

【勧奨】

☐　広報 10 月号掲載

☐　若者健診受診券の送付

☐　国保対象者へ勧奨はがきを送付

・前年度受診者には電話勧奨も実施

３）保健指導率

	該当者数	終了者数	中断者数	未終了者	特定保健指導率
積極的支援	6 人	0 人	1 人	5 人	0%
動機づけ支援	3 人	0 人	0 人	3 人	0%
合計	9 人	0 人	2 人	8 人	0%

④　基本健診

■　対象者　：生活保護世帯の人

■　実施期間：4 月～翌 3 月

【受診者数（人）】

年齢	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	計
人数	0	1	1	1	1	4

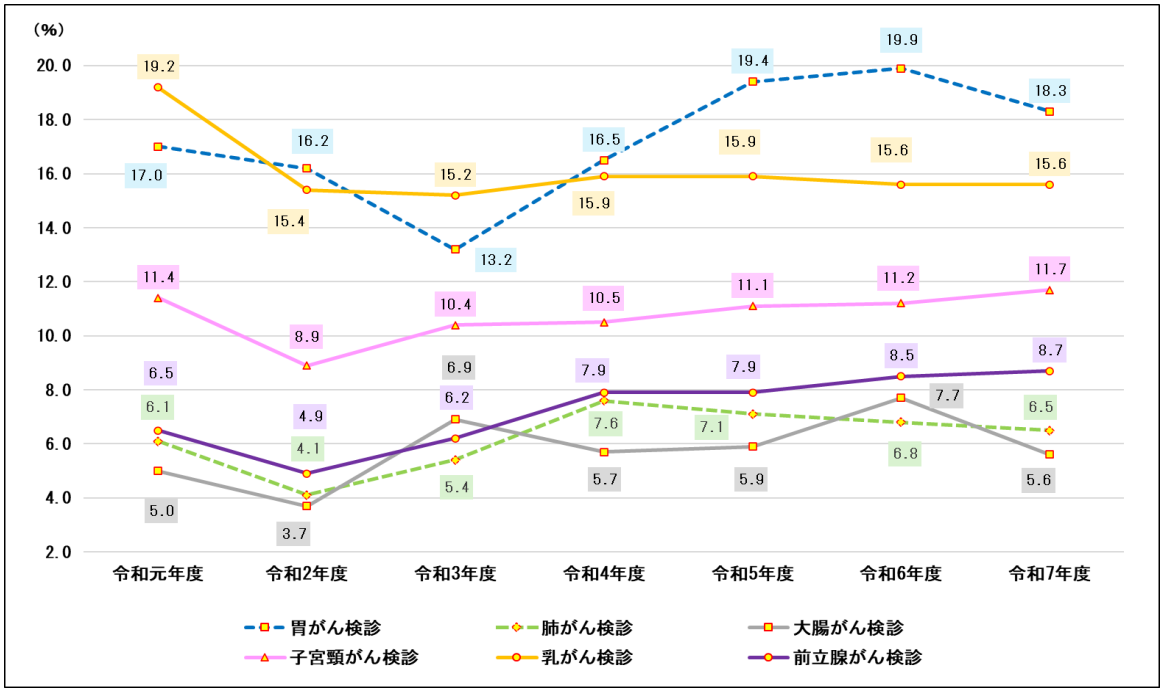
⑤　がん検診

■　対象者　：胃がん・肺がん・大腸がん検診は 40 歳以上の男女、子宮頸がん検診は 20 歳以上の女性、乳がん検診は 40 歳以上の女性、前立腺がん検診は 50 歳以上の男性

■　実施期間：4 月～翌 3 月

１）がん検診受診率

■　がん検診受診率の推移



令和6年度		胃がん検診	肺がん検診	大腸がん検診	子宮頸がん検診	乳がん検診
芦屋町	県内市町村順位	2位	24位	15位	33位	29位
	受診率	19.9%	6.8%	7.7%	11.2%	15.6%
福岡県	受診率	6.4%	3.9%	5.0%	14.9%	13.2%
全国	受診率	6.7%	5.8%	6.7%	16.0%	16.1%

２）がん検診受診率向上対策

【全体への周知】

□　広報にチラシを折り込み

・4 月号：健康カレンダー

・9 月号：健診案内チラシ

□　町内施設へがん検診ポスターの掲示を依頼

□　自治区総会で健診 PR

・13 地区は総会で説明

・2 地区は回覧板による資料配付のみ

【受けやすさの工夫】

□　平日は毎日実施

□　休日健診の実施

・日曜日：年 3 回

□　託児の実施（日曜日のみ）

□　ウェブ予約の実施

□　無料クーポン券の交付

・子宮頸がん検診：21 歳女性

・乳がん検診：41 歳女性

・胃がん、大腸がん、肺がん検診：41 歳男女（44 歳までに 1 回受診が無料）

【無料クーポン券利用率】

	子宮頸がん検診	乳がん検診	胃がん検診	肺がん検診	大腸がん検診
令和 5 年度	5.0%	31.5%	8.7%	7.3%	6.9%
令和 6 年度	5.6%	22.0%	6.6%	4.4%	4.1%
令和 7 年度	6.9%	21.8%	7.4%	4.4%	3.8%

【個人への勧奨】

□　国立がん研究センター作成の勧奨資材を使用した勧奨はがきの送付

・40～69 歳の人に胃がん検診勧奨はがきを送付

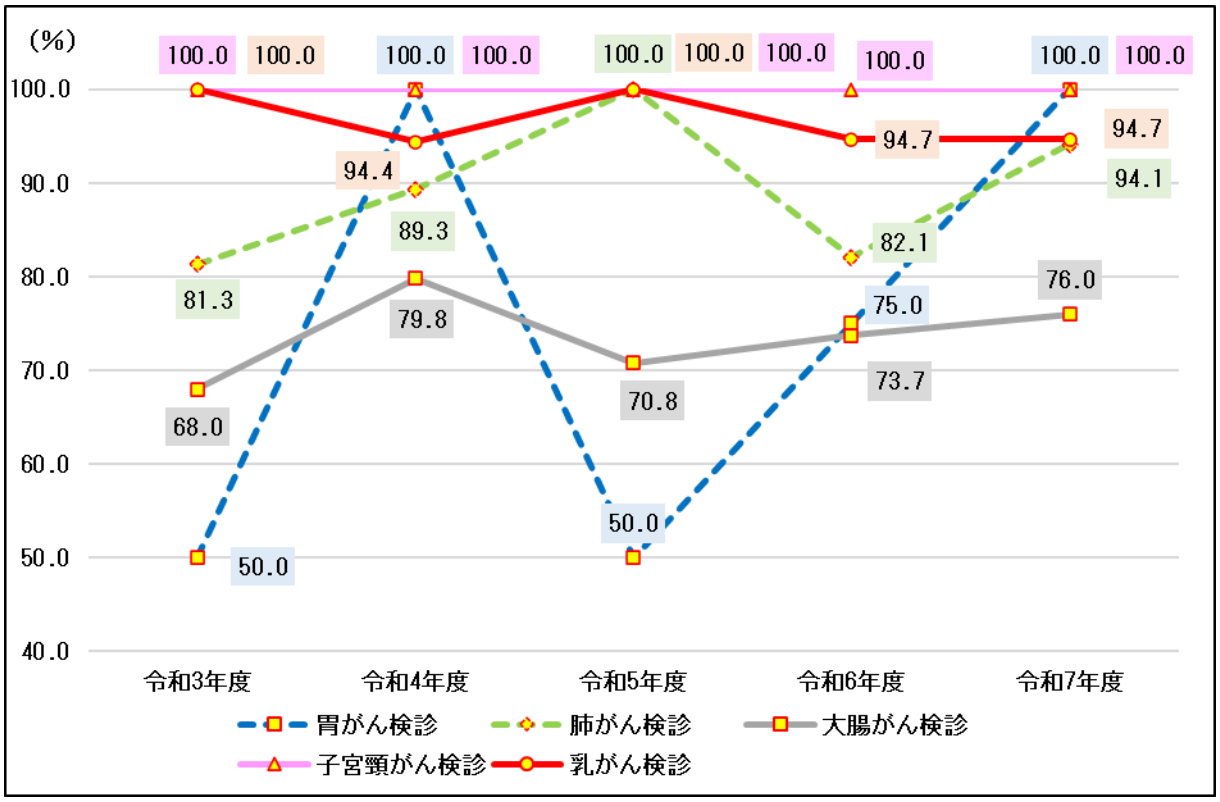
□　2 年前受診者へ電話勧奨および勧奨はがきを送付（乳がん・子宮頸がん）

□　無料クーポン未使用者へ勧奨はがきを送付（乳がん・子宮頸がん）

３）がん検診精密検査受診率

令和７年度	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
精検受診者数/要精検者数	6 人／6 人	32 人／34 人	57 人／75 人	1 人／1 人	18 人／19 人
精検受診率	100.0%	94.1%	76.0%	100.0%	94.7%
がん発見者数	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
がん発見率	0%	0%	0%	0%	0%

■がん検診精密検査受診率の推移



４）がん検診精密検査受診率向上対策

【勧奨】

□　検診結果について、緊急性の高い場合は、電話や訪問で説明し、結果を返却。

□　精密検査未受診者に対し、受診勧奨通知を送付。併せて電話勧奨を実施（年３回）。

⑥　骨密度測定

■　対象者　：当年度に 40・45・50・55・60・65・70 歳になる人
■　実施期間：4 月～翌 3 月
■　実施場所：芦屋中央病院
■　勧奨業務：6 月に対象者へはがきによる勧奨を実施

【受診者数】

年齢	40 歳	45 歳	50 歳	55 歳	60 歳	65 歳	70 歳	計
人数	14 人	14 人	22 人	31 人	30 人	29 人	30 人	170 人

⑦　歯周病検診

■　対象者　：当年度に 20・30・40・50・60・70 歳になる人
■　実施期間：6 月～翌 2 月
■　実施場所：町内　若松歯科医院
　　町外　遠賀中間歯科医師会に加入している歯科医院
■　勧奨業務：①5 月に対象者へ受診券を送付
　　②未受診者（11 月時点）に対し、はがきによる勧奨を実施

【受診者数】

年齢	20 歳	30 歳	40 歳	50 歳	60 歳	70 歳	計
人数	0 人	5 人	6 人	8 人	8 人	10 人	37 人

４．成人保健事業

①　からだ、ゲンキ！教室

■　対象者：19～74 歳の国民健康保険加入者で、当年度に特定健診または若者健診を受診する人

■　日　時：毎週月曜日（祝日を除く）10 時 00 分～11 時 30 分　（全 40 回）

■　場　所：町民会館（全 40 回中 2 回のみ総合体育館）

■　内　容：血圧・体重測定、ストレッチ、筋力トレーニング、リズム体操、
体力測定（3 回）、栄養講話（1 回）、健康講話（1 回）、ラジオ体操（2 回）、
ウォーキング（1 回）、機械を使用した筋力トレーニング（2 回）

■　評　価：参加者からは「体力がついた」、「無理なく自分のペースで実施できる」など好評を得ており、ほぼ全員が腹囲減少に至っている。引き続き、動機付け支援、積極的支援対象者には個別保健指導時に継続して参加を促していく必要がある。

【年代別参加者数】

年齢	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	計
人数	0 人	0 人	0 人	1 人	9 人	16 人	26 人

【参加者数・新規参加者数】

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
参加延人数（実人数）	578 人（20 人）	580 人（23 人）	700 人（26 人）
新規参加者数	7 人	8 人	10 人

②　みんなで元気になろうや！講座

■　対象者：町内在住の 19 歳以上

■　日　時：月 1 回　9 時 30 分～12 時 30 分　（5 コース×2 回＋特別会 2 回の全 12 回）

■　場　所：中央公民館

■　内　容：【前期・後期各 2 回】
①スロートレーニング　②歯　③健診結果の見方　④糖尿病　⑤高血圧
【特別会】
①低栄養　②ウォーキング

■　評　価：講話だけでなく、スロートレーニングの実践や試食会の実施など体験できる内容としたことで、参加者からは「自宅でもできる方法がわかった」「試食により家庭の味は塩分が多いことに気づけた」と好評を得ている。

【参加者数】

	令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
参加延人数	32 人	28 人	27 人	56 人	52 人	121 人
計	60 人		83 人		173 人	

③ ふれあいクッキング

■ 対象者：町内在住者
■ 日　時：7 月・12 月　（全 2 回）
■ 場　所：中央公民館
■ 内　容：管理栄養士の講話、芦屋町の食材を使った料理や郷土料理等の調理・試食
■ 評　価：参加者からは「献立を参考に野菜の種類、量を多めにしていきたい」、「薄味を参考にしたい」など好評を得ている。

【参加者数】

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
参加者数	23 人	30 人	38 人

④ Men’s クッキング

■ 対象者：町内在住の男性
■ 日　時：9 月・11 月　（全 2 回）
■ 場　所：中央公民館
■ 内　容：管理栄養士の講話、調理実習
■ 評　価：参加者からは「規則正しく食事をとろうと思う」、「塩の量を減らそうと思う」「栄養バランスを考えた献立で参考になる」など、食生活を見直すきっかけになっている。引き続き、動機付け支援、積極的支援対象者には個別保健指導時に参加を促していく必要がある。

【参加者数】

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
参加者数	4 人	7 人	10 人

⑤　出前講座

■　対象者：町内に在住、在勤する 5 人以上で構成された団体や団体

■　ﾒﾆｭｰ:①応援します！あなたの健康づくり　②おいしい！ヘルシー！生活習慣病予防の食生活　③応援します！あなたの健康づくり　④こどもの成長と食生活

【実施回数】

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
実施回数	0 回	0 回	0 回

⑥　健康づくり講演会

■　対象者：すべての人

■　日　時：9 月 17 日（水）

■　場　所：中央公民館

■　内　容：医師の講演、健康フェア（血圧測定、体脂肪測定、骨折発生リスク測定）の実施

■　評　価：参加者からは「歯周病軽く考えていました」、「歯や口の中の健康が大事という理由が良く分かった」など好評を得ている。

【参加者数】

内容	講師	参加者数
歯と全身の健康について	小野村　健太郎　医師	35 人

⑦　文化祭

■　対象者：すべての人

■　日　時：10 月 25 日（土）、26 日（日）（2 日間）

■　場　所：中央公民館

■　内　容：【1 日目】健康測定（骨密度測定・肌年齢測定・血管年齢測定）、健康相談
【2 日目】健康測定（骨密度測定・血管年齢測定・脳トレテスト）、健康相談

■　評　価：参加者からは、「日頃測定できないものなので、無料で知ることができてうれしい」等、好評を得ている。引き続き健康測定を行いながら、健康相談や健診の案内等も行い、健康づくり活動の援助を行っていきたい。

【参加者数】

	令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度	
	1 日目	2 日目	1 日目	2 日目	1 日目	2 日目
参加者数	101 人	96 人	73 人	78 人	98 人	73 人
計	197 人		151 人		171 人	

⑧　食生活改善推進会活動

【年代別会員数】　（令和 8 年 3 月 31 日時点）

年齢	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	90 代	計
人数	0 人	1 人	1 人	2 人	4 人	16 人	13 人	1 人	38 人

【活動内容】

町事業への協力	①　みんなで元気になろうや！講座 ②　ぱくぱく料理教室（離乳食教室） ③乳幼児健診（1.6 歳児）おやつ配付、④献血時おやつ配付、 ⑤いきいき昼食会
自主活動	①スマソル（減塩料理）教室、②親子料理教室、 ③地産地消の食材を使った料理教室、④人権まつりへの出店、⑤講演会
自己学習会	①伝達料理教室、②遠賀・中間地域の食生活改善推進員との学習会 ③会員向け料理教室、④研修旅行
養成講座	令和 7 年度開催なし　（次回、令和 9 年度実施予定）

【活動回数】

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
活動回数	44 回	44 回	45 回

⑨　献血推進事業

■　対象者：【全血】男性…17～69 歳、女性…18～69 歳　【成分】18～69 歳

■　日　時：【全血】年 3 回（7 月・11 月・翌 3 月）　【成分】年 2 回（5 月・翌 1 月）

【参加者数・新規参加者数】

		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
全血献血		171 人	186 人	203 人
	うち不採血者	12 人	20 人	18 人
成分献血		5 人	5 人	3 人
骨髄バンク登録者		0 人	3 人	0 人

※献血協力者に骨髄バンクへのドナー登録をお願いしている

⑩　あしや元気に暮らし隊

■　対象者：これまでに健康教室に参加した人

■　内　容：各事業の案内や健康情報を発信（年 2 回）

【送付者数】

内容	送付者数
健康診断について、健康づくり事業について	248 通
健康診断について、文化祭のお知らせ	296 通

⑪　健康ポイント事業

■　対象者：ふくおか健康ポイントアプリを利用している人

■　内　容：福岡県が運営する「ふくおか健康ポイントアプリ」を活用し、健康づくり活動によって獲得したポイントで芦屋町商工会商品券（500 円～3,000 円）が当たるキャンペーンを実施。

■　応募方法：アプリで獲得したポイント（1,000、3,000 ポイント）で、アプリ内のキャンペーン応募から必要事項を入力する。

■　応募期間：第 1 回　令和 7 年 7 月 1 日から令和 7 年 8 月 31 日まで
第 2 回　令和 8 年 1 月 1 日から令和 8 年 2 月 28 日まで

■　評　価：アプリ登録者数、キャンペーン応募者数ともに増加している。引き続き、「ふくおか健康ポイントアプリ」の活用を促していく。

【アプリ登録者数】

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
アプリ登録者数	389 人	527 人	632 人

【応募者数】

	令和 5 年度	令和 6 年度		令和 7 年度	
		1 回目	2 回目	1 回目	2 回目
応募者数	84 人	110 人	125 人	156 人	174 人
計	84 人	235 人		330 人	

⑫ 健診結果説明会

■ 対象者：芦屋中央病院で特定健診・若者健診・後期高齢者健診・基本健診を受けた人
■ 日　時：健診後 1 カ月程度　 9 時 30 分～10 時
■ 場　所：芦屋町役場
■ 内　容：健康診断の健診結果について説明を行いながら返却する。保健指導対象者はその場で保健指導も行う。
■ 評　価：令和 7 年度は、結果説明会において野菜プレゼントキャンペーンを実施したところ、例年より多く対面での結果返却を行うことができた。これが直接の要因であるかは定かではないものの、対面による返却は郵送等に比べて確実な説明や指導が可能であるため、令和 8 年度も引き続き対面での結果返却ができるよう取り組んでいきたい。

【実施状況】

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
対面での返却数/対象者数	596 人／695 人	651 人／702 人	700 人／742 人
対面返却率	85.8%	92.7%	94.3%

５．高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業

高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細かな支援を実施するため、後期高齢者の保健事業と介護予防の取り組みを一体的に実施する事業を令和４年度より実施している。

①　後期高齢者健診（福岡県後期高齢者医療広域連合実施事業）

■　対象者：後期高齢者医療被保険者

■　自己負担：500 円

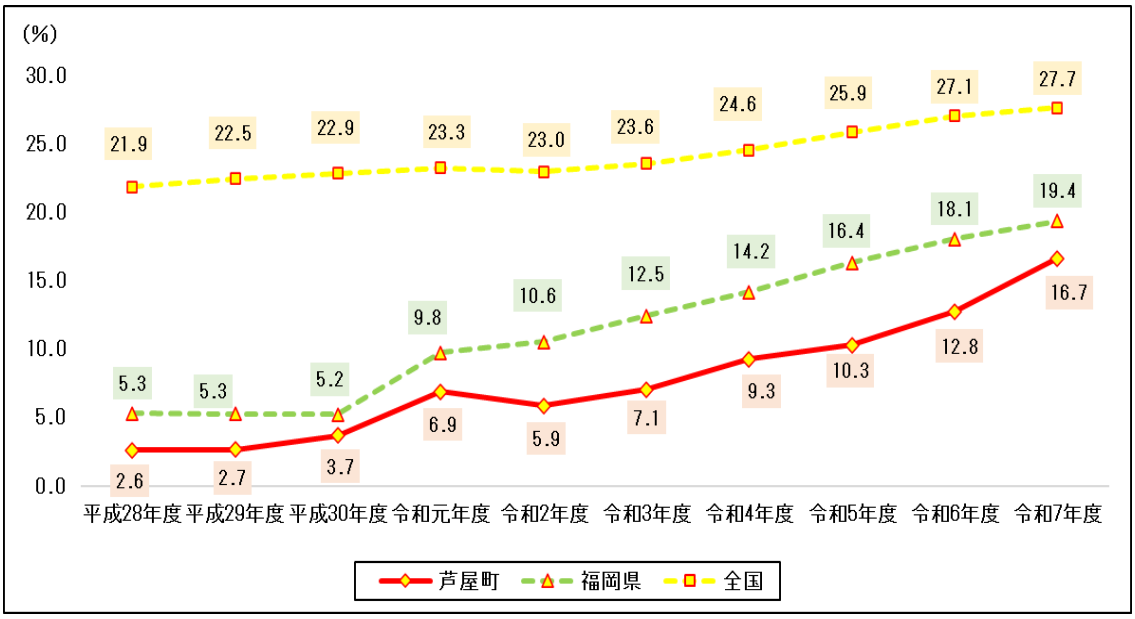
■　健診項目：後期高齢者の質問票（フレイルリスクチェック）、身長・体重・腹囲測定、血液検査（栄養状態・貧血項目を含む）、尿検査

■　評　価：芦屋町の後期高齢者健診受診率は年々上昇している。しかし、国や県と比較して低いため、受診率向上が課題である。特定健診から 75 歳以上も継続して健診を受診してもらえるよう勧奨を行う必要がある。

【後期高齢者受診率の推移】

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
受診者数/対象者数	231 人／2,240 人	286 人／2,237 人	379 人／2,276 人
後期高齢者健診受診率	10.3%	12.8%	16.7%

■後期高齢者健診受診率の推移



②　後期高齢者歯科健診（福岡県後期高齢者医療広域連合実施事業）

■　対象者：当年度に 76 歳～80 歳になる福岡県後期高齢者医療被保険者

■　自己負担：300 円

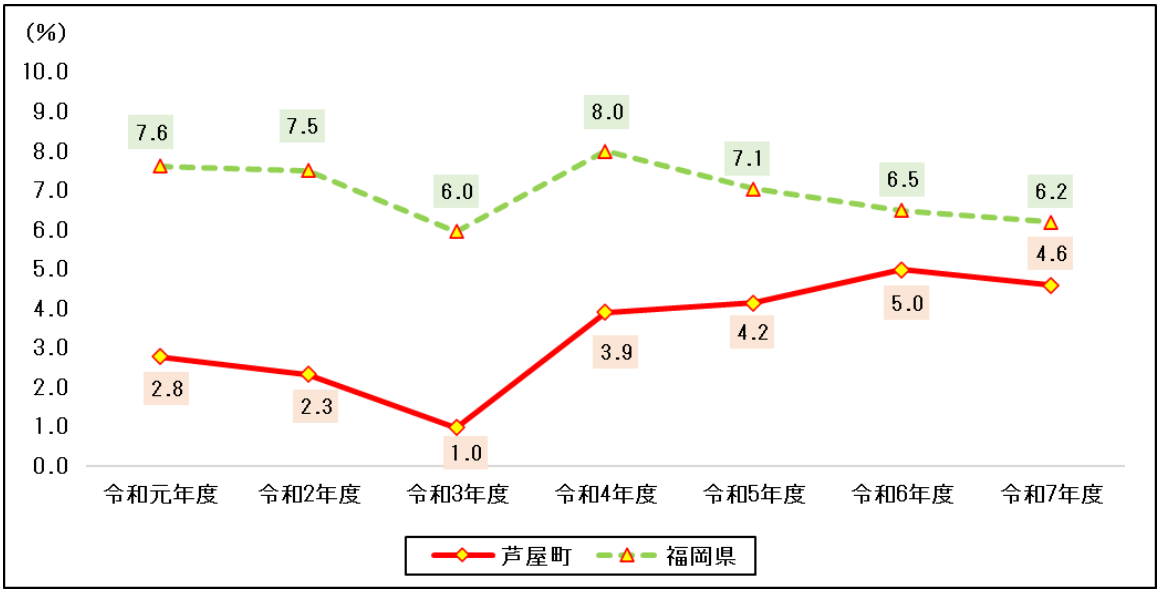
■　健診項目：問診、口腔内診査、口腔機能診査（頬の膨らまし検査・反復唾液嚥下テスト）

■　評　価：芦屋町の後期高齢者歯科健診受診率は令和 3 年度以降上昇していたが、令和 7 年度は低下した。また、県と比較しても低いため、受診率向上が課題である。口腔機能が全身に及ぼす影響を説明し、受診を促す必要がある。

【後期高齢者歯科健診受診率の推移】

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
受診者数/対象者数	32 人／771 人	39 人／788 人	39 人／854 人
後期高齢者歯科健診受診率	4.2%	5.0%	4.6%

■後期高齢者歯科健診受診率の推移



③　保健事業

◆ハイリスクアプローチ

●糖尿病性腎症重症化予防

事業目標	糖尿病に罹患している対象者が、生活習慣を改善することで腎症に至るような重症化を防ぐ。
対象者	後期高齢者健診受診者のうち抽出基準に該当する人
抽出基準	以下の①②いずれにも該当する人 ①空腹時血糖 126mg/dl（随時血糖 200 mg/dl）以上または HbA1c6.5%以上 ②以下の 4 つの条件のいずれかに該当する人 ・eGFR45mL/分/1.73m²未満 ・eGFR60mL/分/1.73m²未満のうち、年間 5mL/分/1.73m²以上低下 ・尿蛋白±以上 ・血圧 140/90mmHg 以上の未治療者
内　容	・糖尿病専門医、腎専門医がいる医療機関受診の案内 ・かかりつけ医と連携した保健指導の実施
実施結果	【対象者：9 人】 ・保健指導を実施できた人数　　：9 人（100%） ・医療機関の受診につながった人数：9 人（100%） ・かかりつけ医と連携できた人数　：6 人（66.7%）

●高血圧重症化予防

事業目標	高血圧症の対象者が、生活習慣を改善することで脳血管疾患や心疾患に至るような重症化を防ぐ。
対象者	後期高齢者健診受診者のうち抽出基準に該当する人
抽出基準	以下の①②のいずれかに該当する人 ①【治療中】収縮期血圧 180mmHg 以上、または拡張期血圧 110mmHg 以上 ②【未治療】収縮期血圧 160mmHg 以上、または拡張期血圧 100mmHg 以上
内　容	・医療機関受診の案内 ・かかりつけ医と連携した保健指導の実施
実施結果	【対象者：19 人】 ・保健指導を実施できた人数　　：19 人（100%） ・医療機関の受診につながった人数：17 人（89.5%） ・かかりつけ医と連携できた人数　：　9 人（47.4%）

◆ポピュレーションアプローチ

●フレイル予防の普及啓発、運動・栄養・口腔等の健康教育・健康相談

事業目標	地域交流サロンや町の出前講座等において、医療従事者による介護予防に関する健康教育を行うことで、自身の健康に対する意識を高め、要支援・要介護状態に至るのを防ぐ。
対象者	高齢者
内　容	・地域交流サロンや町の出前講座等で、フレイル予防のための健康教育・健康相談の実施 ・後期高齢者の質問票（フレイルリスクチェック）を活用した講話の実施 ・後期高齢者健診の受診勧奨 ・昨年度に実施した質問票の回答結果や健診結果をもとに、対象者へサロンや健康教室への参加勧奨個別通知の送付
実施結果	・みんなで元気になろうや講座（P.24「4.成人保健事業」の内容参照） ・Men’ｓクッキング（P.25「4.成人保健事業」の内容参照） ・ふれあいクッキング（P.25「4.成人保健事業」の内容参照） ・地域交流サロン（出張介護予防教室のフレイル予防講話）　実施回数：5回 ・自治区公民館での健康相談会（血管年齢測定会）　実施回数：2回

６．疾病対策

①　アピアランスケア支援事業

■　内　容：がん患者及びがん経験者の治療に伴う心理的負担を軽減するとともに、社会参加を促進し、療養生活の質の向上を図るアピアランスケア支援として、医療用ウィッグや補整具等の購入費用の一部を助成する事業。

■　対象者：下記①～⑤の条件すべてに該当する人

①芦屋町の住民

②がん治療を受けた又は受けている人

③他市町村で同様の助成を受けていない人

④暴力団との関係がない人

⑤町に滞納がない人

■　助成額：対象用具の購入費の合計の 2 分の 1（上限 10 万円）、一人 1 回限り

■　申請期限：購入した年度の 3 月 31 日まで

【助成件数】

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
助成件数	3 件	5 件	7 件

②　骨髄等移植ドナー助成事業

■　内　容：骨髄等の提供を行い、入院・通院期間、職場を休むことになった人に対し、経済的負担を軽減するため、1 日につき 2 万円の助成を実施する事業。
（上限日数 10 日、上限金額 20 万円）

■　対象者：下記①～⑤の条件すべてに該当する人

①芦屋町の住民

②骨髄バンク事業に登録を行い、骨髄等の提供を行った人

③同様の助成を受けていない人

④暴力団との関係がない人

⑤町に滞納がない人

【助成件数】

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
助成件数	0 件	0 件	0 件

③　小児・AYA 世代がん患者在宅療養生活支援事業

■　内　容：小児・AYA(アヤ)世代[1]のがん患者が、住み慣れた自宅で安心して生活を送ることができるように、在宅における生活を支援し、患者およびその家族の身体的・経済的負担の軽減を図ることを目的として、サービスの利用に関する一部を助成する事業。

■　対象者：下記①～⑥の条件すべてに該当する人

①芦屋町の住民

②がん患者

③在宅療養上の生活支援及び介助が必要な人

④他の事業において同様のサービスに利用が受けることができない人

⑤暴力団との関係がない人

⑥町に滞納がない人

■　助成額：利用したサービスにかかる費用の 9 割相当額を助成　（上限月額 54,000 円）

■　申請期限：助成対象となるサービスを利用した翌年度の 4 月末日まで

【助成件数】

	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
助成件数	0 件	0 件	0 件

1）AYA(アヤ)世代とは「Adolescent and Young Adult（思春期・若年成人）世代」の略で、15～39 歳を指す

７．成人・高齢者予防接種事業

①　風しんの追加的対策

■　対象者：①抗体検査：昭和 37 年 4 月 2 日～54 年 4 月 1 日生まれの男性
　　②予防接種：抗体検査結果が基準値未満の人

■　日　時：4 月～翌 3 月

■　料　金：無料（クーポン券持参）

【風しんの追加的対策接種状況】

	令和元年度～令和 7 年度		
	対象者数	受診・接種者数	率
抗体検査受検率	1,496 人	538 人	36.0%
抗体検査陰性率	538 人	106 人	19.7%
予防接種率	106 人	104 人	98.1%

②　高齢者定期接種

１）高齢者インフルエンザ

■　対象者：①65 歳以上の町民
　　②60 歳～64 歳で、心臓、腎臓、呼吸器の機能に障がいがあり、身の回りの生活が極度に制限される人またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がいがあり、日常生活がほとんど不可能な人

■　日　時：10 月～翌 3 月

■　料　金：1,500 円（生活保護受給者と住民税非課税世帯の人は無料）

【高齢者インフルエンザ予防接種率】

	令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度	
	60～64 歳	65 歳～	60～64 歳	65 歳～	60～64 歳	65 歳～
接種者数	6 人	2,474 人	3 人	2,284 人	6 人	2,213 人
接種率	85.7%	57.9%	42.9%	54.5%	54.5%	53.3%

２）高齢者肺炎球菌

■　対象者：①65 歳（65 歳の誕生日の前日から 66 歳の誕生日の前日まで）
②60 歳～64 歳で、心臓、腎臓、呼吸器の機能に障がいがあり、身の回りの生活が極度に制限される人またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がいがあり、日常生活がほとんど不可能な人

■　日　時：4 月～翌 3 月

■　料　金：2,500 円（生活保護受給者と住民税非課税世帯の人は無料）

【高齢者肺炎球菌予防接種率】

	令和 5 年度		令和 6 年度		令和 7 年度	
	60～64 歳	65 歳～	60～64 歳	65 歳	60～64 歳	65 歳
接種者数	0 人	115 人	0 人	10 人	0 人	51 人
接種率	0%	22.5%	0%	6.9%	0%	34.7%

３）高齢者新型コロナウイルス

■　対象者：①65 歳以上の町民
②60 歳～64 歳で、心臓、腎臓、呼吸器の機能に障がいがあり、身の回りの生活が極度に制限される人またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がいがあり、日常生活がほとんど不可能な人

■　日　時：10 月～翌 3 月

■　料　金：7,800 円（生活保護受給者と住民税非課税世帯の人は無料）

【高齢者新型コロナウイルス予防接種率】

	令和 6 年度		令和 7 年度	
	60～64 歳	65 歳	60～64 歳	65 歳
接種者数	2 人	542 人	1 人	268 人
接種率	28.6%	12.9%	9.1%	6.5%

４）高齢者帯状疱疹

■　対象者：①65・70・75・80・85・90・95・100 歳以上の人
（70・75・80・85・90・95・100 歳の人は令和 11 年度までの経過措置）
②60 歳～64 歳で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がいがあり、日常生活がほとんど不可能な人

■　日　時：4 月～翌 3 月

■　料　金：生ワクチン【1 回接種】4,600 円、組換えワクチン【2 回接種】11,000 円/1 回
（生活保護受給者と住民税非課税世帯の人は無料）

【高齢者帯状疱疹予防接種率】

	令和 7 年度	
	60～64 歳	65 歳
接種者数	0 人	242 人
接種率	0%	26.9%